

## 登園許可証明書

園児氏名 \_\_\_\_\_

病名「 \_\_\_\_\_ 」と診断され、  
 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 から病状も回復し、集団生活に支障がない状態になったので  
 登園可能と判断します

\_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

医療機関 \_\_\_\_\_

医師名 \_\_\_\_\_

印 \_\_\_\_\_

保育施設は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団での発症や流行をできるだけ防ぐことはもちろん、子どもたちが一日快適に生活できることが大切です。

感染力のある期間に考慮し、子どもの健康回復状態が集団での生活が可能な状態となってからの登園であるようご配慮ください。

### ○医師が記入した許可証が必要な感染症

感染症名	感染しやすい期間	登園の日安
麻疹（はしか）	発症 1 日前から発疹出現 4 日後まで	解熱後 3 日を経過してから
インフルエンザ	症状がある期間（発症前 2 4 時間～発症後 3 日程度までが最も感染力が強い）	発症した後 5 日を経過し、かつ解熱した後 3 日を経過するまで
風疹	発疹出現の前 7 日から後 7 日間程度	発疹が消失してから
水痘（水ぼうそう）	発疹出現 1～2 日前から痂皮形成まで	全ての発疹が痂皮化してから
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	発症 3 日前から耳下腺腫脹後 4 日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから 5 日を経過するまで かつ、全身状態が良好になるまで
結核		医師により、感染のおそれがないと認められるまで
咽頭結膜熱（プール熱）	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え 2 日経過してから
流行性角結膜炎	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いいため結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後 3 週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで、又は 5 日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
腸管出血性大腸菌感染症（O-157、O-26、O-111）		症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、4 8 時間あけて連続 2 回の検便でいずれも陰性が確認されたもの
急性出血性結膜炎	ウイルスが呼吸器から 1～2 週間、便から数週間～数ヶ月排出される	医師により、感染のおそれがないと認められるまで
髄膜炎菌性髄膜炎		医師により、感染のおそれがないと認められるまで

※証明書の発行は医師の判断にお任せください。